

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	14146
課題名	胃カルチノイド RindiⅢ型のリンパ節転移危険因子に関する多施設共同後ろ向き研究
研究期間	西暦 2015年2月1日 ～ 2016年12月31日
利用する情報、検体	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：胃カルチノイドの臨床病理学的項目、再発および予後の調査） <input checked="" type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：胃 ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ） ※以下の期間に収集した情報、検体が対象となります 西暦 2000年1月1日 ～ 2015年2月1日
研究の意義、目的	胃カルチノイドは稀な疾患で、その病態も十分に解明されていません。最近では1cm程度の小さな胃カルチノイドも見つかるようになり、このような小さな病変に対して内視鏡治療も検討されるようになりましたが、その妥当性はいまだ不明です。胃カルチノイドの病態、特にリンパ節転移の危険因子を明らかにすることにより、内視鏡治療を含めた治療の選択肢を広げられる可能性があります。全国レベルで胃カルチノイドの病態を把握することは、今後の日本の医療において非常に有益であると考えられます。
研究の方法	今回の多施設調査では、胃カルチノイドに対して過去に手術または内視鏡治療を受けた患者さんを対象としています。調査項目は以下のとおりです。 <u>調査項目</u> 1. 胃カルチノイドの臨床病理学的項目 2. 再発および予後の調査 今回の多施設調査では、各施設に調査票を配布して診療情報を収集し、切除検体を研究事務局に集めて病理学的検討を行います。切除後の検体は病理学的検討が終了後に各施設に返却されます。
その他	
個人情報について	利用する情報、検体からは、お名前や住所など、個人が特定できる情報は削除して取り扱いますので、個人情報が外部に漏えいすることはありません。研究成果発表（学会発表、学術論文への投稿）の際にも、個人が特定できる情報は利用しません。
問い合わせ等の窓口	所属：消化器外科・移植外科 氏名：長谷川 公治 電話番号：0166-68-2503